

F X投資のススメ .....\*

今週のドル相場の動向【3月8日号】

\* .....\*

為替市場は先週末 5 日の NY 時間に、米・雇用統計が予想ほど悪化していなかったことから、米国の景気回復に対する見通しの高まりを背景にリスク志向の動きにより、ドル安・円安方向に振れて推移しました。

これに先立って最近発表された製造業部門、非製造業部門の景況感指数や小売売上高などの経済指標でも改善が示されていたことから、当面は、NY 株式が堅調推移し、ドル円相場ではドル高・円安、クロス円では円安に振れて推移する可能性が高くなっています。

ドル対ユーロは、ユーロ高に巻き戻されてきました。ギリシャ問題を巡って綱引き状態が続くものの、日柄的には 1 月、2 月のドル高に対してそれを是正する動きが強まり、1.4000 台にトライする可能性があります。

週末 5 日の NY ダウは 122 ドル高の 10566 ドルと、昨年 8 月 17 日安値と 10 月 2 日安値を結ぶトレンドラインの上に乗せてきており、上昇トレンド入りした可能性があります。今週の値動きが注目となりますが、このトレンドラインの上で推移すると、1 月 19 日高値の 10729 ドルにトライする動きとなります。

一方、NY 原油先物は 2 か月ぶりに 81 ドル台に乗せてきました。当面、1 月 8 日高値の 83.25 ドルを抜くかどうか注目となりますが、トリプルトップを形成する動きとなって推移しています。

米国も欧州も金融緩和により金余りの状態が続いており、このマネーが市場に流れ込んでいます。株式・原油ともに市場マインドは強気に転換してきています。

ただ、米国の景気回復も金融緩和政策の上に成り立っているところが多く、基盤が脆弱であることに変わりはありません。したがって、誰もが疑心暗鬼の状態での高値に追従している状態となっていますが、経験則として、このような相場はじり高となりがちです。そして、崩れる時は一瞬です。

今日の日経平均は、NY ダウの続伸やドル円相場のドル高・円安を受けて買い先行で始まり、216 円高の 10585 円と 1 カ月半ぶりの高値をつけて引けて来ました。

先週に報道された日銀の追加金融緩和策の検討入りも株高要因となって継続しており、今週は上値を抑えているトレンドラインの 10700 円台にトライする可能性もあります。ただ、年度末を控えて、高値圏では金融機関から持ち合い株の売りも出やすく、これがマイナス要因となります。

今日の為替相場は、序盤に日経平均の大幅高を見越した売買によりドル安・円安方向に振れたものの、上値では戻り売りや利益確定売りで押される展開となり、こう着状態が続いています。

今週の為替相場の動きは、米国の経済指標が改善して NY 株高が続く場合はリスク志向の動きでドル安・円安に振れる動きとなります。波乱要因として、アイスランドで先週行われた国民投票があります。英蘭預金を保護し政府の資金での支払いを行うことの是非について国民の大部分はノーの意思を示しました。国民投票で決めるということ自体が異例のことですが、この結果がソブリン・リスクを高め、また、モラルハザードとなってユーロ安、ポンド安につながる可能性があります。

市場は、3月入りしてギリシャ問題が当面の山場を越えたことから、次のテーマ探しに入っています。日本の巨額な財政赤字が次のテーマになる可能性について、市場の一部で取り沙汰されています。(そうなると、日本売りとなって、株安・円安方向に振れてきます。)

---

ドル円の大まかなトレンド

---

長期的には↓      中期的（数ヶ月）は→      短期的（1週間程度）は→か↑

---



## USD/JPY (ドル円)

本日のドル円は、先週末の NY 時間の流れを受けて序盤に 90.68 と高値を切り上げた後は、実需の売りや戻り売りに押される展開となって、こう着状態が続いています。

NY 株高により米・長期金利はやや軟化して 3.6%台を推移しており、金利面ではドル買いに勢いがありません。また、ユーロドルが上伸してくると、ドルインデックスも 80 ポイントを維持するのがやっと、という状態になります。

ドル円が上昇するとしたら、クロス円の上昇による円安に連れる展開となる程度で、したがって、あまり上値を期待することができない状況です。



**[想定レンジ] 88.7～91.9 円**

今週の相場は、上値が重たい相場の状況で、今後どの程度の下押しで止まるか。それ以外では、テクニカル面で、先週末の大陽線を付けここ数日のレンジを一気に上抜いており、相場が動く材料がない中、調性的な動きが予想されます。そのため、今後の 89.5 円から 91.1 円付近での攻防に注目していきたいです。

2月以降から高値更新で上昇するのか?!しかし、3月初旬に安値更新。このまま下落か?!と思わせておいて再び上昇と方向感のまったく無い展開となっています。このような相場のおときは積極的に売買を仕掛けるよりは休んで今後のトレンドの出方を見極めるほうが懸命と思います。プロのトレーダーは常に売買しなくてははいませんが私達、個人投資家の強みは休むことが出来ることです。

今後の見通しとしては、円高方向へのポイントはやはり先週安値です。割り込むと87円前半、更には86円台との見方は維持します。円安方向へは前回の高値の92円台。この水準では動きを止められやすいと想定し仮に、92円台を突破したとしても1月高値の93円台を更新しない限りは円安への勢いは加速しないと判断します。

### 【今週の経済指標一覧表】

日付	国内	海外
3/8(月)		 2月住宅着工件数
3/9(火)		 2月スイス消費者物価指数  1月英商品貿易収支
3/10(水)		 1月鉱工業生産指数  トリシェ ECB 総裁講演
3/11(木)		 RBNZ・政策金利発表 (現行 2.50%)  2月新規雇用者数 (前月比)  SNB・政策金利発表 (現行 0.25%)  1月貿易収支  新規失業保険申請件数  カーニー-BOC 総裁講演
3/12(金)		 1月小売売上高指数 (前月比)  1月鉱工業生産指数 (前月比)  2月雇用ネット変化率 (前月比)  2月失業率  2月小売売上高 (前月比)  2月小売売上高 (除自動車) (前月比)  3月ミシガン大学消費者信頼感指数  トリシェ ECB 総裁講演

---

内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当方は一切の責任を負いません。投資に関する最終的な決定は、読者ご自身の判断にてお願いいたします。

Copyright (C) 2008-2010 (有)アクロサーブ All Rights Reserved.  
このメールの無断転用・転載を禁止します。

---